

【金沢区】 令和8年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和8年 6月 11日 15時 00分 ～ 16時 10分
場 所	金沢区役所 5階1号会議室
出席者	【議員：5名】 横溝 じゅん子 議員（座長）、 谷田部 孝一 議員、黒川 勝 議員、 竹野内 猛 議員、坂井 太 議員 【金沢区：29名】 齋藤 真美奈 区長、瀧澤 朋之 副区長、 富田 千秋 福祉保健センター長、 渡邊 誠 福祉保健センター担当部長、 渡邊 知幸 金沢土木事務所長、 三村 英明 金沢消防署長 ほか関係職員
議 題	1 令和8年度個性ある区づくり推進費 自主企画事業執行計画について 2 その他
発言の旨	1 令和8年度個性ある区づくり推進費 自主企画事業執行計画について 竹野内議員：土砂災害、水害等の災害対策について、近年は台風等により被害が頻発している状況である。土砂災害、河川の氾濫、内水氾濫への備えなど、いまのうちからできる備えについては万全を期していただきたいが、この点の見解を伺いたい。 中島金沢土木事務所副所長：土砂災害の備えとして、道路沿いのがけにおいて、事前に点検等でその状況を把握するとともに、土砂災害警戒レベルが高い場合、臨時点検を実施している。また、緊急輸送路である環状4号線沿いのがけにおいて、土地所有者の承諾が得られた箇所の対策工事の発注を本年度予定している。 河川では、局と連携し、年に一度の河川点検の実施や定期的に水路や雨水桝の清掃を実施するほか、大雨が予想される際には、事前の堆積物撤去

や点検を確実に行うなど、引き続き適切な維持管理に努めていく。

また、大雨による水害対策として、釜利谷南公園入口に土のうステーションを設置する。すでに地元関係者の皆様と調整を行っており、6月下旬の設置を予定している。

竹野内議員：先の定例会においては、喫煙に関する条例が「横浜市屋外の公共の場所における喫煙の防止等並びに空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例」に改正された。

本改正により、道路を含む屋外の公共の場所における喫煙を原則として禁止することとされた。あわせて、新たに喫煙禁止の対象となる駅前広場等については過料は設けられていないものの、条例の実効性を高めるため、見回りによる啓発の強化に加え、分煙環境を確保する観点から喫煙所の整備についても検討されている。

以前から区民の皆さんからの指摘の多い、金沢文庫駅の西口についても、検討対象エリアとなっている。喫煙所整備は有効な分煙対策だと思うので、ぜひ区の方からも実現に向けて積極的な働きかけをお願いしたい。

岡本資源化推進担当課長：喫煙所の整備については、喫煙禁止地区や乗降者数の多い駅、ごみのポイ捨てや受動喫煙等の課題の多い場所を先行した整備が予定されており、関係各局と連携を図りながら検討を始めている。

竹野内議員：喫煙所の整備については、今回の条例改正を機に、分煙環境の確保における対策を具体的に進めてほしい。

また、不登校児童生徒の支援について、不登校の原因は、学校での人間関係や学習のつまづき、家庭の環境に問題があるなどと考えられがちだが、実際にはいずれにも当てはまらないケースも多く、原因は分からないが親御さんは深く悩まれており、子ども自身も孤立や学習の遅れなど、様々な不安を抱えている。学校に戻す、通えるようになることが正解な訳でもない。その意味で、今年度からの不登校児童生徒支援の新規事業が「学校以外も含めて必要な関係機関につなぐことで、安心して学び、暮らすことができるよう支援する」としていることは重要で、取組の着実な前進に期待している。そこでまず、支援団体等一覧のマップ完成時期はいつ頃を見込んでいるのか。また、どのようにして必要な人に届けるのかを伺いた

い。

渡邊学校連携・こども担当課長：マップについては、デジタル媒体のものとし、11月を目途に完成予定としている。完成したマップは、不登校児童生徒やそのご家族など必要としている方に直接お届けできるよう、学校やスクールソーシャルワーカー等の皆さまにご協力いただくとともに、家庭と学校の連絡システム「すぐーる」などの活用についても検討していきたいと考えている。

併せて、支援団体や関係機関等とも広く共有することで、どこに相談があった場合でもすぐに情報をお届けできるような体制を構築していきたいと考えている。

竹野内議員：地域の「茶の間」支援事業の中でも、新たに不登校支援の事業に対して補助を実施するとの説明があったが、何か所で、どのような取組に支援されるのか伺いたい。

中盛地域振興課長：今回、「茶の間」支援事業では、既に補助金の適用を受けている施設を活用し、新たな子育て支援事業を始めるときに補助ができるようにした。現在、対象の施設が金沢区内に11施設ある。そこで、まず、コミュニティサロンの連絡会で、「サロンの空き時間などを使って、子どもや保護者の居場所づくりを始めないか」とお伝えし、今回新設した補助の内容についてご説明をした。

個々のコミュニティサロンのご事情もあると思うので、ご説明の機会をいただき、一つでも多く居場所の新設につながるよう、個別に対応を進めていく。

竹野内議員：不安定な中東情勢によるナフサ不足、物価高などの影響について、まだまだ影響が長引く情勢で、残念ながら休業や失業などの増加が見込まれるのではないかとという状況である。

基本的には、中小企業支援は経済局が管轄しているが、市民生活に最も身近な区役所としても、事業者や生活者の状況にしっかりとアンテナを張っていただき、事業環境や物価高に対応する必要な支援・体制等について、市の各部局と積極的に連携を図っていただきたいと思うが、いかがか。

金井区政推進課長：中東情勢を踏まえた支援については、経済局が特別経営相談窓口や制度融資メニューの設置等を実施していると承知しているが、区としても、地元企業の皆さまと密に連携する中で、困りごとや支援のニーズを把握し、伺った声を関連局とも共有して支援策を検討するなど、連携を図っていく。

竹野内議員：夏の暑さ対策について、区内でも既に先月から 25 度を超える夏日も増えており、この夏も厳しい暑さが予想される。エアコンはもはや生命維持装置とも言えるが、長時間の運転や猛暑の影響で故障するケースも増えており、経済的に買換えや修理の余裕のない、生活保護あるいは高齢者の世帯などにとっては、命に関わる問題になる。

このことから、先の予算議会ではエアコンの購入補助を検討していただきたいと市長に申し入れ、検討する旨の答弁をいただいているが、予算の都合上、簡単な話でないこともよく承知している。

区役所としても、ケースワーカーや高齢・福祉サービスに関わる皆さんとよく連携していただき、エアコンの適正利用の呼びかけや、クールシェアスポットのご案内なども含めて、生活保護、高齢者世帯などの状況には特に目配りをお願いしたいと思うが、いかがか。

小林高齢・障害支援課長：区職員、介護サービス事業者等が生活保護世帯や高齢者世帯などを訪問した際には、自宅の状況を確認し、適切なエアコンの使用やこまめな水分補給、クールシェアスポットの利用など、健康の維持に必要な暑さ対策の助言を行っている。

竹野内議員：ライフデザイン事業について、今年度は金沢高校、横浜市大、関東学院大の 3 か所で開催とのことで、またセミナーの様子を拝見できればと考えているので、開催時期が決まったら教えていただきたい。こちらは要望とする。

海の公園トイレの火災について、4 月 4 日の夕方に、海の公園・柴口休憩所隣のトイレ棟が全焼する火災が発生した。

海の公園では、9 か所あるトイレ全てのリニューアルと洋式化を 3 年計画で進めており、こちらもほんの 1 か月ほど前に改修を終えたばかりのところで、非常に残念である。建物のコンクリート自体も損傷しており、復

旧の際はいったん取り壊してからの建築となるとの事で、現時点で復旧のめどは立っていないと聞いている。普段、火の気のない場所での、大きな火災であり、その原因が非常に気になっている。そこで、警察・消防による原因等の調査状況はいかがか。

小柳総務課長：発災後に警察が捜査を行っていることは区としても承知しているが、その後の進捗について区には特段情報はない状況である。

消防の対応状況については、金沢消防署からお答えする。

星災害対策担当課長：出火原因は、ライターなど何らかの移動可能な火源を用いて放火したものと考えており、現在、火災調査報告書を作成している段階である。

竹野内議員：海の公園には、実は防犯カメラが設置されていない。横浜市としては、利用者のプライバシー等に配慮し、公園内に防犯カメラを設置しない方針を取ってきたとも聞いているが、今のご時世、むしろ利用者の安全を確保していくためにも、積極的に設置していくべきだと思う。防犯カメラの早期の設置について、区からも積極的な働きかけをお願いしたいと思うが、いかがか。

小柳総務課長：海の公園についてだが、みどり環境局南部公園緑地事務所及び指定管理者である横浜市緑の協会が所管している。

区としても、利用者の安全確保の観点から、対策の必要性について継続して伝えており、区の課題認識はみどり環境局にも共有されている。今後とも、地域の皆様が安心して利用できるよう、しっかりと働きかけていく。

黒川議員：公園の安心・安全が大事だと思う。みどり環境局へは課題を伝えているが、最近は自動販売機に防犯カメラが内蔵されているなど、目立たない形での監視も可能となっている。入口に「防犯カメラで監視中」等の看板設置も抑止力につながると思う。

海の公園や野島公園、小柴自然公園などでは、若者が集まる中でトラブルに発展する事案も見受けられるため、抑止という観点からも対策が必要と考える。このような具体的に話が進んでいることがあれば教えてほしい。

い。

小柳総務課長：先生方のご心配や課題があるというお考えについては、区としてもこれまでも局に伝えているところである。ただ、具体的な局の対策について、現時点では区としては把握していない。

今回のご指摘も踏まえ、改めて関係局に対して区の考えをしっかりと伝え、対応の必要性について共有していく。

黒川議員：地域の安心安全が脅かされている状況にあると感じているので、しっかり対応をお願いしたいと思う。

それでは次に、不登校支援の「つながるまち」事業について伺いたい。今回、不登校支援団体等を一覧で掲載したマップを作成するとのことだが、特に障害のある不登校児童生徒への支援について、現時点でどのような検討をされているのか。

渡邊学校連携・こども担当課長：障害のある不登校児童生徒への支援について、実際の受入れにあたっては、送迎の問題や対応に必要な人員や実際のニーズの有無といった様々な課題があると認識している。また、受入可能な団体も限られている状況である。

こうした状況を踏まえ、障害のある子どもたちへの支援については重要な課題と認識しており、今後、関係機関との連携を図りながら、適切な対応ができるよう検討を進めていきたい。

黒川議員：障害の程度や種別によって受入れの可否が変わることは理解しているが、その上で、不登校支援団体側にも一定の対応を求める方向性も必要と考える。例えば、障害のある子どもでも受入れ可能な団体が分かるように、マップの中で区別できるような工夫があれば、保護者の方々にとって非常に分かりやすくなる。今後マップを作成するのであれば、そうした点についても検討してほしい。

また、茶の間支援事業と不登校支援事業との関係について、この2つの事業はどのように連携していくのか説明してほしい。

渡邊学校連携・こども担当課長：茶の間支援事業については、直接支援団

体に補助するものではなく、主に場所の提供を行う側への補助制度である。そのため、不登校児童生徒やその保護者が集うことができる場所がコミュニティサロンにあるという情報については、支援団体や保護者の会などを通じて周知していくことを考えている。

今後、支援団体や関係者を通じた周知の在り方についても検討していきたいと考えている。

黒川議員：不登校児童生徒の受入れには一定の専門性も必要になるため、補助制度の運用にあたっては、その点も踏まえて進めてほしいと思う。

また、支援内容が具体化していけば、このマップにも反映できるようになると思うので、両事業をしっかりと連携させて進めていただきたい。

中盛地域振興課長：茶の間支援事業について補足する。今回の補助制度の拡充は、受入れ可能な場所が少ないという課題を踏まえたものであり、区内 11 施設のコミュニティサロンを活用することで、子どもや保護者が安心して集まれる場所を増やしていきたいと考えている。今後、関係機関と連携しながら、マップへの反映なども含めて連携を図っていく。

黒川議員：補助金を活用して、子どもが学べる環境、例えば机や椅子、パソコンなどを整備することも期待しているので、そのような使い方が進むよう取り組んでほしい。

続いて、魅力プロモーション事業について伺う。インフルエンサーとの連携について、公募・審査を行うとのことだが、報酬は支払う形になるのか確認する。

金井区政推進課長：インフルエンサーについては、報酬を支払うことを考えている。

黒川議員：インフルエンサーは個人の好みや価値観に基づいた発信を行う傾向が強いため、使い方によっては区の意図とずれる可能性がある。特定の評価が区の公式見解のように受け取られるリスクもあるため、公共性の担保が重要だが、その点についてどのように対応するのか考えを聞かせてほしい。

金井区政推進課長：ご指摘のとおり、リスクは認識している。選定にあたっては一定の基準を設けて審査を行い、適切な人材を選考する。

また、公共性も含めて、区からインフルエンサーに、こういう情報発信をしてほしいと内容を伝えていきながら、適正な情報発信に努めていく。

黒川議員：個人ではなく、団体による発信の活用については検討していないのか。地域で活動している団体による情報発信も有効と考えるが、その点について伺う。

金井区政推進課長：今回の事業では、まずInstagramを活用した個人インフルエンサーによる情報発信に特化して試行的に実施する考えである。どういう情報発信ができるかどうかは、事業を進めながら検討していきたい。

黒川議員：観光マップの多言語化事業について伺う。金沢区内でも外国人観光客も見受けられるようになったが、八景島や横浜ベイサイドマリーナなど、まだ一部だと感じている。どの程度作成し、どのような場所で配布する想定なのか。

中盛地域振興課長：作成部数については、印刷業者と調整中だが、予算の範囲内でできるだけ多く発行する方向で調整中である。配布先としては、ホテルなど来客されるような場所を中心に考えており、紙媒体だけではなく、ホームページでも閲覧できる形を検討している。

黒川議員：区内だけでなく、横浜駅やみなとみらい、さらには都心部のホテルや空港など、観光客が多いエリアにも配置することで、金沢区への誘導につながると考える。そうした視点での展開は考えているのか。

中盛地域振興課長：市の観光協会とも連携し、交通機関や市の観光協会に配布するよう検討している。

黒川議員：ぜひ区外から金沢区内にお客さんを誘導できるように検討してほしい。横浜観光の中で金沢区にも足を運んでいただけるような、いわゆる

る体験型の観光の活用を考えていくことが重要だと思うので、今後の取組に期待している。

続いて脱炭素の取組について伺いたい。海に関する体験型の環境事業として様々な取組が行われているが、ブルーカーボンに関する教育についても、金沢区ではかなり広がってきていると感じている。金沢漁港での取組や、昆布・わかめといった海藻関連の活動、八景島や横浜ベイサイドマリーナでの環境学習など、子どもたちにとって有意義な取組が多く実施されている。

一方で、それぞれの活動が個別に行われており、横のつながりが十分ではないようにも感じている。区としてこれらの取組をどのように把握し、連携を図っていくのか。また、年間スケジュールのような形で整理して発信することなども含めて、どのように考えているのか聞きたい。

金井区政推進課長：区内には漁港や横浜ベイサイドマリーナ、八景島など、ブルーカーボンに関する取組を行っている団体や施設が複数存在していると認識している。今回の「金沢の海を活かそうプロジェクト」においては、カード配布などの取組を契機として、これらの団体との連携を図っていきたいと考える。

また、イベント情報の一覧化や広報を通じて情報発信を行うことで、地域内の横のつながりを強化するとともに、多くの方に足を運んでいただくきっかけづくりにもつなげていきたいと考える。

黒川議員：まさに金沢区ならではの取組になると考えるので、魅力づくりにもつながる形でしっかり進めていただきたい。

最後に寄り道×Kanabun（かなぶん）整備事業に関連して伺う。文庫ふれあいの道の東側、海側出口付近にはふれあい広場があり、地域の商店街と小学校が連携して花植えなどの活動を行っているが、こうした地域の取組との連動についてどのように考えているのか聞きたい。

金井区政推進課長：ぼたんちゃん広場の活用については地域のにぎわいづくりの観点から重要な取組と認識しており、現在は商店会のイベント活用を中心に調整している。今後はふれあい広場も含めて、学校との連携など、どのような活用が可能か検討していく。

黒川議員：ふれあい広場では商店街や小学校が主体となって花植えなど良い取組が行われているが、担い手の高齢化も見られる。こうした活動が継続できるよう、区としても支援や連携の工夫をお願いしたい。

坂井議員：本日ご説明いただいた令和８年度の自主企画事業については、金沢区の魅力を高めて、外から人を呼び込むことにつながるものだと考えている。住んでいる人だけでなく、外から見て魅力的だと思ってもらえるような情報発信について、どのように考えているのか伺いたい。

金井区政推進課長：今回の取組は、区民に資するものであると同時に、区外の方から見ても魅力ある地域と感じていただき、来訪につなげていくことを意識している。そのため、カナスタなどのウェブサイトなどを通じて、金沢区の魅力が分かりやすく伝わるよう情報発信を行っていく。

坂井議員：情報発信については、新しい取組も含めて積極的に進めていただきたい。一方で、金沢区は海や緑など魅力的な資源がある反面、夜間には暗がりができやすく、治安面での懸念もある。現実として、夜間に騒音や問題行動が見られる場面もあり、まちの安心安全が脅かされる可能性がある。

そのため、公園などについてはできるだけ明るくし、人の目が届く環境づくりを進めるとともに、防犯カメラの設置なども含めて対策を進める必要があると考える。この点についてしっかり対応していただきたいと思うが、見解を伺いたい。

小柳総務課長：公園の維持管理については、区が行っているものもあるが、大きな公園の維持管理はみどり環境局の所管となる。

また、夜間の騒音・治安については警察との連携も必要となる。区としてできることに加え、関係局や警察ともしっかり連携し、区民の皆様が安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいきたい。

坂井議員：金沢区は楽しい要素が多く、魅力ある地域である一方で、一部で秩序が乱れてしまい、問題につながることも考えられる。楽しさと秩序のバランスを取りながら、明るく安心して過ごせるまちづくりを進めてい

ただきたいと思う。

谷田部議員：窓口発券システムについて伺う。現在は主に2階の戸籍課を中心に導入されているが、他のフロア、特に4階などへの展開についてはどのように考えているのか。

小柳総務課長：現在、戸籍課以外にも高齢・障害支援課、こども家庭支援課、保険年金課など一部の課で順次導入を進めている。ただし、すべての窓口を導入されているわけではない。

窓口業務に関しては、WEB やインターネットで事前発券等ができる取組を来庁者の利便性向上を踏まえ、検討していきたい。

谷田部議員：4階の窓口も順次取り組んでいくのか。

小柳総務課長：区福祉保健センターに関しても可能な限り実施していきたいと思う。高齢・障害支援課、こども家庭支援課をまずは最初に導入したいと考えている。

谷田部議員：併せてマイナンバーカードの活用について伺う。窓口によってはカードが十分に活用できない状況があると認識しているが、現状と今後の対応について教えてほしい。

操戸籍課長：マイナンバーカードは本人確認として機能を備えているため、マイナンバーカードを提示すれば本人確認書類として成立する。一方で、マイナンバーカードの IC チップを読み取って申請書を自動印刷する仕組みについては、現在のところ戸籍課でのみ導入されている。他の窓口については未整備の状況である。

谷田部議員：実際に4階の窓口などでは、マイナンバーカードの IC チップを使った読取りができないため、障害者手帳等の提示が必要になるとの説明を受けた。せっかくカードを持っても活用できない状況になっており、利用者目線で見ると利便性に課題があると感じている。今後、こうした窓口でもカード読取機を導入する予定はあるか伺いたい。

小林高齢・障害支援課長：現時点においては、マイナンバーカードの IC チップを活用した読取装置の導入について、具体的なスケジュールは定まっていない。

小柳総務課長：交付手続きを簡略化する必要性は認識している。今後、関係部局と連携しながら検討を進めていきたい。

黒川議員：区制 80 周年に向けた実行委員会の構成について伺う。現状のままでは既存の団体や役員層に偏る可能性があり、若い世代の関与が限定的になるのではないかと懸念している。最近若い世代が地域活動に積極的に関わっている状況もあるので、そうした方々を実行委員会のメンバーに加えて、積極的に巻き込んでいくべきと考えるが、区長の見解を伺いたい。

齋藤区長：これまで地域を支えてきた方々を大切にしつつ、現在新たに活動している若い世代の力も非常に重要だと認識している。実行委員会への関わり方も含め、どのような形で参画していただくのが良いか検討しながら、幅広い世代の力を取り入れて盛り上げていきたいと考える。

横溝議員：いきいきフェスタについて、金沢区内の団体より出店希望があり、担当課から「既存の団体を優先しているため、新規募集は行っていない」との回答をいただいた。そこで確認だが、出店団体の新規募集は最後にいつ実施されたのか。今後新しい団体等を採用する計画はあるか。

中盛地域振興課長：既存の出店団体のスペースが埋まってしまうため、新規に出店団体の募集を行った記録はない。しかし、コロナ禍でしばらく出店できなかった団体など、過去に出店した団体からご相談があった場合には、調整を行い、可能な範囲で出店いただいている。なお、キッチンカーや区内飲食店等の出店については、観光協会に調整をお願いしている。

また、昨年度の出店団体は 90 団体となっており、出店スペースの確保が大変難しい状況だが、新規出店希望のお問合せをいただくこともあり、事務局においても課題と認識している。

出店数の増加にあたっては、スペース、安全性、予算面等の課題がある

	が、会場内の配置を工夫すること等により対応できないか、今後、実行委員会で検討していく。 横溝議員：新規参入の機会を確保することは地域活性化にもつながるので、ぜひ検討を進めていただきたいと思います。 金沢八景駅前の放置自転車対策として設置されているのぼりについて、設置主体はどちらになるか。また、景観面からはかえって自転車放置場所を目立たせているようにも感じるが、効果検証は行われているのか。 中盛地域振興課長：のぼりは地元自治会・町内会・商店会等で構成される自転車等放置防止推進協議会が作成・設置している。協議会に確認したところ、令和8年5月末に設置を開始したばかりであることから、効果については検証中と伺っている。 なお、7月には道路局と連携し、一時利用のできる駐輪場を記載した新たな啓発ビラを用いて、既存の駐輪場の利用を促す啓発活動を実施する。少しでも放置台数が減るように、今後も道路局や協議会と連携を図りながら、放置自転車対策を進めていく。 横溝議員：放置自転車は治安悪化の印象にもつながりかねないため、引き続き対策をお願いしたい。 横溝議員：他にご意見がなければ、以上で議事を終了する。本日の議事内容の市会報告については、座長へ一任していただいてよろしいか。 (異議なし) 横溝議員：そのほか事務局から何かあるか。 小柳総務課長：事務局からは特にない。 横溝議員：以上で本日の議題を終了する。
備 考	